

令和3年度

第3回磐田市男女共同参画審議会 摘録

日 時	令和3年11月2日（火）午後3時00分～5時00分
開催方法	オンライン（ZOOM）
出席委員	鈴木まり子会長、永野涼子副会長、福長たか江委員、桐畑りか委員 永井新次委員、藤森新五委員、久永公子委員、田中卓也委員、稲葉紗恵委員 金原正好委員
事務局	地域づくり応援課長補佐、担当職員2人

[会議内容]

- 1 開会
- 2 連絡・報告
 - (1) 令和3年度第2回男女共同参画審議会の振り返り
- 3 議事
 - (1) 第3次磐田市男女共同参画プラン素案について
- 4 閉会

[資料内容]

- 【資料1】 令和3年度第2回男女共同参画審議会摘録
- 【資料2】 第3次磐田市男女共同参画プラン（素案）

[会議概要摘録]

1 開会

2 連絡・報告

3 議事

(1) 第3次磐田市男女共同参画プラン素案について

- ・具体的な施策の文書中に「磐田市審議会等の設置及び運営に関する指針」と記載があるが市民は指針の内容を確認できない。そのため資料添付が必要ではないか。(施策 17. 18)
- ・企業や市役所だけでなく、農業や漁業に携わる人に対してもワーク・ライフ・バランスを推進するために農林水産課を担当課に追加するのはどうか。(施策 9)
- ・すべての市職員のワーク・ライフ・バランスを推進するために消防総務課を追加するのはどうか。(施策 10)
- ・あらゆる暴力の根絶に向けた注意喚起や情報提供は、具体的に行う施策と対象者を明確に示す必要がある。(施策 29)
- ・プラン中の語句の意味が分かりづらいため注釈が必要である。(施策 13)
- ・各審議会委員の女性割合を開示することで現状が市民により伝わるのではないか。(指標 3)
- ・女性の自治会長や防災会長の割合を増やすことは簡単ではないため、具体的なロードマップが必要である。(指標 6)
- ・外国人情報窓口における相談件数が増えるだけでは意味がないため、解決につながるような支援が大切である。そのため指標も解決した相談件数に変更するのはどうか。(指標 8)